

2019（平成31）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会
ひなたの道 B型事業所

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）中期目標（平成29年度～平成31年度）

高齢化する利用者のニーズに基づく日課、設備の充実を図る。

（3）基本方針

①自己実現欲求の充足を図る。

②多機能型の特性を活かした運営を行う。

③地域の方と円滑な関係を築く。

2. 施設概要

（1）施設種別	指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）		
（2）利用定員	40名（現利用者数：41名）		
（3）開所年月	平成28年10月		
（4）施設規模	敷地面積	982.38㎡	
	延床面積	996.24㎡	
	建物構造	鉄筋コンクリート造（地上3階地下0階建て）	
	賃貸区分	（土地）賃貸	（建物）所有

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	7名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名（生活介護と兼任）
支援員（非常勤職員）	7名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	16名

(2) 嘱託

医師（4回／年）	1名
看護師（4回／年）	0名
理学療法士（1回／2月）	1名
作業療法士（2回／月）	0名
合 計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	0名	11名	23名	6名	1名	41名
身障手帳	2名	4名	2名	1名	0名	9名
精神保健手帳	0名	1名	0名	0名	0名	1名

※身障手帳と重複

(2) 年齢構成（平均年齢 45.2歳）

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	0名	6名	4名	9名	8名	3名	30名
女	0名	3名	0名	2名	2名	4名	11名
合計	0名	9名	4名	11名	10名	7名	41名

最低年齢 男…20歳 女…22歳 最高年齢 男…70歳 女…75歳

平均年齢 男…43.6歳 女…49.8歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	練馬区	新宿区	国立市			合計
38名	1名	1名	1名			41名

(4) 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	2名	2名	9名	9名	5名	1名	13名	41名

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:00～	送迎
9:00～9:10	朝礼・軽運動
9:10～11:30	生産活動
11:30～12:30	昼食 休憩
12:30～15:00	生産活動 係活動 余暇活動
15:00～15:20	清掃 終礼
15:30～	送迎

(2) 土曜日

8:00～	送迎
9:00～11:00	生産活動
11:00～11:30	昼食 終礼
11:40～	送迎

※状況により変更あり

6. 重点目標

(1) 健康・衛生

- ①加齢による運動機能低下の防止、軽減や精神的な安定を図るため、嘱託医など専門家の指示に基づき、個々の状況に適したプログラムを提供する。
- ②健康診断、体重測定など定期的に行い、利用者の健康状況を把握し、家庭等データ共有を図り、医療機関への情報提供など早期対応を図る。
- ③健康についての情報を家庭などに提供していく。

(2) 家庭・地域生活

- ①生活を楽しむことを目的とし、身だしなみ、ファッションなどの情報を提供するとともに、消費活動など潤いのある生活に意識が向けられるようアドバイスや機会の提供を行う。
- ②社会生活を円滑に営むためのスキルを獲得し、自分の生活に活かせるような場面提供を行う。

(3) 作業・就労活動

①作業種目

作業種目	内 容
受託事業	ショッピングバッグ製作、ダイレクトメール封入他
回収事業	市内の古紙、ダンボールなどの回収
清掃事業	市内高齢者事業所、マンション他
自主事業	農作業、食品加工
パート、アルバイト	白十字ホーム、三栄サービス、ふれあい喫茶（富士見公民館内）

(4) 給食

①利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。

②栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
712Kal	25 g	110.3 g	19 g	125 mg			
					0.4 mg	0.38 mg	35 mg

(5) 自治会活動

①話す、聞く、考える が利用者自身で行えるよう、最小限のアドバイスをを行い、主体的な活動の場になるよう支援する。

②テーマにより、全体、グループ別と分け実施する。

(6) 行事

①年間行事予定

	内 容
4月	
5月	
6月	宿泊旅行
7月	
8月	暑気払い㊦ 夏期休暇
9月	グループ別外出
10月	↓
11月	運動会㊦ ↓
12月	クリスマス・忘年会 冬期休暇 ↓
1月	成人を祝う会㊦
2月	
3月	バスハイク㊦

②余暇活動 調理、運動、植物栽培（路地、水耕）、創作活動

※生活介護のプログラムを利用することがある。

7. 防災訓練

- (1) 災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行う。
- (2) 市、地元自治会などと協力し、備蓄品、設備など非常時の福祉避難場所としての機能を整える。

8. 地域との交流

- (1) 挨拶、清掃活動など積極的に行い、日常的な関係を充実させる。
- (2) ボランティアの受け入れ、地域イベントへの参加、近隣学校との交流など啓発活動を行う。

9. 実習生の受け入れ

- (1) 特別支援学校よりの実習を受け入れ、体験の場とする。
- (2) 大学、専門学校などより実習を受け入れ、福祉職員の養成の一端を担うとともに、人材確保の機会とする。

10. 父母会、親の会との連携

- (1) 支援の充実を図るため、家族の方との情報交換を密に行う。
- (2) 事業所の活動への理解を深めるため、月1回の保護者会を行う。
- (3) 家族が参加できる行事を行い、交流の場とする。

11. 職員研修

- (1) 知識、情報収集のため、研修、見学、交流などを行う。
- (2) 積極的に自己啓発し、支援に活かす。

12. 会議予定

種 目	回 数
職員会議	1回／月
ひなたの道合同職員会議	1回／月
評価会議	2回／年
給食会議	1回／月
ケース会議	1ケース／月
研修報告会	研修後

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

それぞれに規定を置き、利用者、職員の権利、安全を守り、満足の向上を図る。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔 (施設長)	042-394-3731
担当者	清水 元宏 (主任支援員)	同上
第三者委員	端山 幸子 (元社協職員)	

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔 (施設長)	042-394-3731
担当者 (男性)	近藤 義登 (支援員)	同上
担当者 (女性)	広瀬 美雪 (支援員)	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔 (施設長)	042-394-3731
担当者	牛越 拓生 (支援員)	同上